

防犯・防災について

青山 隆幸 議員



二 市民交番構想について

青山 先日、合志市民安全・安心ネットワーク委員会が開催され「市民交番」構想が提示されたが伺いたい。

市長 市内には各青パト隊・防犯ボランティアがあるが、皆さんの活動拠点となり、また気軽に立ち寄れる「市民交番」を立ち上げ、地域力・警察力が連携して市内全域の安全安心を見守っていく。また、防犯カメラも積極的に整備運用して、市内に警察力でもカバー出来ない死角を無くしたい。



建設中の熊本北合志警察署

青山 ならば、熊本北合志警察署の誕生を契機に、本市はどこよりも防犯対策に力を入れているとアピールするためにも、組織再編で課に昇格した交通防災課の名称を、「交通防災課」とするよう提案しておく。

二 防災訓練及び防災備蓄9000人分

青山 今回提示された合志市地域防災計画の内容では、合志市総合防災訓練のあり方に「図上シミュレーション等」の文言があり、今後は変わって来ると思うが、

交通防災課長 今回は避難所運営マニュアルも作成した。今後の防災訓練は展示型から参加型訓練に移行する。避難訓練、図上訓練、避難所運営ゲーム等を取り入れた訓練にして行いたい。

青山 また備蓄が9000人分と書かれている。市内3カ所の防災拠点センターにおいて、計画的に備蓄されているものと思われるが、その管理を今年誕生した防災士の皆さんに任せたらどうか。高い意識をもって防災士になられた訳であるから、その後アクシオンがないとモチベーションも下がる。「合志市防災士会」(仮称)を組織して、さまざまな役割を担ってもらうことが大事だ。

地震による農業被害

青木 照美 議員



青木 熊本地震に係る農業被害について。

農政課長 農業用倉庫や農機具の被害件数が160件であり被害総額10億2200万円。法面崩壊や、ほ場の亀裂が4カ所ですべて完了している。

青木 地震による竜門ダムのパイプラインの被害は。

農政課長 空気弁の破損が5件。地震発生時から昨年の5月末日までの漏水件数58件。復旧費が600万円である。その後昨年の6月から今年の3月末日までに新たに49件の漏水。平成28年の漏水件数は余震の為に4倍を超えている。



竜門ダムの受益水田

二 基盤整備について

復興を目指すし、農地の基盤整備はできないか。

農政課長 国の補助事業である、農業地耕作条件改善事業がある。小規模の整備事業として熊本県の農業農村整備推進交付事業がある。この要件としては受益面積が1ヘクタール以上を取り組むこととなっている。

青木 1区画を1ヘクタールとし、相応の基盤整備はできないか。

農政課長 国も農地集積については積極的に推進している。課としても所有者や耕作者の意向を考え、必要に応じて取り組んでいきたいと思う。

二 墓やお堂、お宮の復興

青木 個人所有でない、墓やお堂、お宮などの復興はどうなっているか。

生涯学習課長 熊本県の復興基金を活用する、地域コミュニティ施設復旧支援がある。被災した地域集落における地域コミュニティの場として、長年利用されてきた施設の再建を支援するものである。要件に照らして個別に判断する。

国際化に向けた市の方針は！

齋藤 正昭 議員



齋藤 熊本県及び本市の国内における英語力の位置付けは。

教育審議員 文部科学省が公表した平成28年度の英語教育実施状況調査(英検3級程度以上を取得している割合)結果では、熊本県の中学生は47都道府県、及び20政令都市を含む全国67自治体の中で66位、下から2番目である。本市のデータはない。

齋藤 文部科学省の学習指導要領の改訂内容と本市の小中学生の英語力向上に向けた取り組みの現状は。

教育審議員 平成32年度からの新学習指導要領により、小学校3年生から英語活動が導入される。本市では英語力向上のためのイングリッシュキャンプや英語チャレンジ大会を開催している。合志南小学校においては平成26年度から国の「英語教育」特例校として英語科を創設し、全学



英語教育に力を入れる合志南小学校

二 人材(財)バンクの活性化について

齋藤 市長マニフェスト事業での「人材バンク」の活用状況は。

企画課長 設立から5年余りで利用が5件と低調だ。市内外に登録を呼びかけているが、協力者も少ない。

齋藤 大変先進的な取り組みで、今後の行政課題対応に有効と考えるが、

市長 人材バンクは、人と地域、人と団体をつなぐプラットフォームと考えている。先般立ち上げた東京ネットワーク会議等とも連携し、人材バンクの目的の周知等も含め、地道ではあるが積極的に登録、利用を願っている。

青少年育成について

松井美津子 議員



松井 青少年育成のため熊本復興支援で被災地を励まし、希望を与えた本市出身のブルーインパルス隊員上原広士さんの講演について。



生涯学習課長 本人のスケジュールを調整し、青少年育成市民会議で検討し前向きに取り組む。

二 ドライブレコーダー

松井 動く防犯カメラ、ドライブレコーダーの設置について伺う。

財政課長 事故発生時の記録、交通安全の意識向上に効果があり、バスやワゴン車、ETC設置の公用車を優先に検討していく。

二 ヒロリ菌の検査及び助成

松井 本市でヒロリ菌検査の実施、その助成を求める署名が1万80013名集まったが課長、市長の見解を求める。

健康づくり推進課長 国の動向や近

隣自治体の状況をみて判断する。

市長 近隣の1市2町の首長と話し合いをする方向で検討したい。

二 終活支援

松井 人の尊厳が保たれ、自分らしく生きていくための終活支援の取り組みについて。

高齢者支援課長 ことぶき教養大学で高齢者の終活関係の講演会を開催して今後、市民講座として開催し、先進地の状況を調査していく。

二 成年後見制度

松井 認知症や高齢者、知的障害者を支えるこの制度の利用促進の取り組みについて。

福祉課長 成年後見制度利用促進基本計画研修会の情報収集、計画策定を検討し制度の周知に努める。

二 就学援助入学金支給

松井 要保護児童生徒援助費補助金要綱が改正されたが、入学金の支給は、**学校教育課長** 認定判断基準の所得や、解決すべき課題があり、他の自治体を研究していきたい。